



阿久津 佳子 議員



家庭系一般廃棄物について

問 一般廃棄物減量化において

①専ら物^{もっぱら}（資源ごみ^{ぶつ}）[※]の分別状況と課題、②ごみ処理費用（手数料）を含む有料指定ごみ袋制度導入は可燃ごみ減量に必ずしもつながらない、正しい分別や資源ごみリサイクルの強化によりごみ減量が成就すると考える、③有料指定ごみ袋制度導入スケジュール、④制度導入や市条例改正も視野に入れた市長の公平性という観点の考え、⑤古河地

※専ら物…専ら再生利用の目的となる産業廃棄物または一般廃棄物を指す

区のごみ減量化実績から有料指定ごみ袋制度ではなく、従来の搬出方法や単純指定袋制度でもよいのではないか、⑥物価高騰下、今すぐに制度導入を行わなくてもよいのではないか、以上について、所見を伺う。

答（市長） ③令和8年4月1日導入に向けて変更はない。④古河地区も同時期の制度導入が、受益者負担の面からも望ましい。制度導入による手数料は、市の歳入になる予定で、ごみ処理事業に充てることで公平性が保たれると考える。⑤さしま環境管理事務組合の方針は、有料指定ごみ袋制度導入である。ごみ減量化につながるため、組合の費用負担削減の方策としても有効であるとする。⑥市民に金銭

的負担を強いるが、ごみ減量化に向けた一つの手段である。市民に理解いただけるよう、丁寧な説明を行っていく。

答（市民部長） ①総和、三和地区では5種類、古河地区では7種類の分別だが、分別不十分の収集不能を示す警告シールが貼られたごみが残存し、行政自治会で再分別による清潔保持が必要という声も多数ある。②制度導入により、ごみ減量化の効果があつた事例もある。制度導入をきっかけに、さらなる分別やリサイクル率の向上につながると考えている。



資源ごみのリサイクルがごみ減量化の第一歩！



関口 和男 議員



デジタル教科書について

問 ①市の現状を伺う。②効果、課題について伺う。③国際学習到達度調査（PISA）[※]によると、デジタル教育先進国であるフィンランドは、近年は成績を落としている。デジタル教科書の扱いは慎重になるべきだが、今後の展望を伺う。

答（教育長） ③ICT支援推進委員会研修会を通じ、デジタル教科書の効果的な活用について

※PISA…3年ごとに15歳児を対象に行う読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野についての調査

の研修を計画的に実施していきたい。

答（教育部長） ①英語は全ての小中学校に、算数・数学は小学校17校、中学校6校に提供され、紙の教科書と併用している。②動画や音声の使用といった学習理解を深めるツールとして効果がある。課題は、これらの特徴を生かした授業づくりである。

夏休みの安全指導について

問 ①安全指導計画について伺う。②近年、大きな事故等があったか伺う。③学校離れ、児童生徒間のコミュニケーションの希薄化が懸念されるが、今後の展望、所見を求める。

答（教育長） ③各学校において、

オンライン相談窓口を設け、児童生徒が気軽に相談できる環境を整えることで、教職員とのつながりを保ち、必要な支援を継続していく。長期休業だからこそできる体験活動により、家庭の絆や地域の中で子どもたち同士のふれあいを深める良い機会になると考えている。

答（教育部長） ①夏季休業前の集会などで、水難事故等の防止、熱中症対策等について指導している。②昨年度の実績は、水難事故ゼロ件、交通事故2件、熱中症による救急搬送はゼロ件である。

